

目標6 交通の利便性を活かした産業と交流のむらづくり

主要施策 6-1 地域内外交流の促進

1) 地域内外の交流促進

■現状と課題

少子高齢化・過疎化の中で、地域の活性化や観光振興を図るため、各種交流イベントの開催や近隣市町村との交流がむらの魅力向上、交流人口の増加に欠かせない時代となってきました。

近年では、精神的な豊かさが重視されるなか、自然とのふれあいや心身の癒し、体験・学習等のさまざまな分野が観光の目的とされるようになり、地域の多様な自然や文化、産業等も観光の対象となってきています。また、団体旅行から個人やグループによる旅行、発地型観光から着地型観光へと移行する傾向にあります。

本村には各種団体が開催するイベント、地域に受け継がれてきた歴史ある伝統的な行事も数多くあり、村内外からたくさんの方が訪れます。

魅力ある地域資源は、地域内外の人との交流を活性化させる上でも、また住民の誇りを高めるうえでも重要であり、これからのむらづくりの大きな柱となります。今後も、地域内外の交流により村の活性化が図られるよう、交流活動を積極的に支援していくことが必要です。

また、少子化・過疎化の要因の一つとして晩婚化、未婚化が深刻な課題となってきました。

これまで交流の機会を提供してきた職場や青年団等の地域活動は、出会いの場としての機能を失いつつあるのが現状です。こうした現状を公的にもサポートし、地域内外の交流人口を増加させる必要があります。

■施策の方針

住民相互の交流や地域間交流・連携を積極的に進め、農山村の魅力を広くアピールし、豊かな地域資源を活かした農山村と都市の交流活動の促進に努め、地域経済の活性化や地場産業などへの波及効果を図ります。

球磨郡9町村が支援協定を基に連携する「結婚支援」事業を活用して、村内の独身者と他地域の独身者が交流する場所を提供し、定住促進や地域の活性化を図ります。

■事業の内容

- グリーンツーリズムの推進
- 各種団体によるイベントや伝統行事の支援
- 地域資源や特産品の内外へのPR 活動
- 結婚支援事業の推進



主要施策 6-2 集客交流の展開

1) 交流活動の促進

■現状と課題

本村は、「さがら温泉茶湯里」などの交流施設や、国指定重要文化財の十島菅原神社や国指定登録有形文化財のふるさと館などの歴史的・文化的遺産を有し、イベントなどを通じて情報発信に努めています。

本村の豊かな自然を守ろうとたくさんのボランティアグループが連携し活動していますが、こうした力は、これからの魅力あるむらづくりに欠かせない力です。ボランティアグループの自主性を高めるとともに、若者を中心としたグループ及びリーダーを育成し、その連携・協力体制を強化していくことが必要です。

■施策の方針

ガイドブックなどによる地域資源の情報発信を進めるとともに、この村の魅力をさらに高めるためにも、地域づくりに携わる人材の育成を図ることで、訪れた人たちを「おもてなしの心」で迎えることのできる体制づくりに努めます。

■事業の内容

- 観光協会による活動の促進
- テレビ、情報誌、ホームページ、フェイスブック等での情報発信



2) 集客交流基盤の整備

■現状と課題

本村では、これまでに「さがら温泉茶湯里」などを交流拠点として整備してきました。いずれも周辺施設と連携した活動の拠点としての役割を担っています。

村全体としての魅力を高めていくためには、各拠点をネットワークで結び、地域産業や住民との連携を図る一方で、都市圏からすればそのものが癒しの空間である素晴らしい自然環境を、観光や環境資源として再認識し、活用していくことが求められています。また、観光協会などを含めた広域的な観光ネットワークづくりが必要です。

観光PRの充実を目指すとともに、イベントやガイド情報を発信し、村の知名度を高めることが必要です。村全体が「おもてなしの心」を醸成し、新たな観光資源の創出や広域観光ルートの設定など魅力ある観光の振興に取り組み、村内外からの観光客の誘致を積極的に図ることが必要です。

■施策の方針

観光協会や商工会と連携し、新たな地域資源の掘り起こしや拠点施設の充実を図るとともに、県や近隣の市町村と連携しながら広域的な観光ネットワークづくりに努めます。

■事業の内容

- 他市町村との連携による広域的な観光ネットワークづくり
- 既存の資源を活かした観光振興
- 新たな地域資源の掘り起こし
- 交流施設の適性な維持管理

